

報道資料

新提案「セパレートサウンドバーコンセプト」によるコンパクトなフロントスピーカーにより映画やテレビ放送、音楽など、さまざまなコンテンツを明瞭で広がりのある音で楽しめる  
 スリムサブウーファー搭載のコンパクトフロントスピーカーシステムを新発売  
 ～著作権保護技術“HDCP 2.2”や最新の映像規格“HDR<sup>※1</sup>”、Bluetooth<sup>®</sup>無線技術にも対応～



商品名	型番	希望小売価格	発売予定時期
コンパクトフロントスピーカーシステム	HTP-CS1(B)	オープン価格	6月下旬

オンキヨー&パイオニアマーケティングジャパン株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:大瀧 正気)は、コンパクトなフロントスピーカーとスリムデザインのサブウーファーにより、臨場感のある音で映画や音楽を楽しむパイオニアブランドのコンパクトフロントスピーカーシステム「HTP-CS1(B)」を発売します。

本機は、テレビや置台のサイズ・デザインが変化する場合、テレビ周りにすっきりとセッティングできるシステムで映画や音楽を臨場感のある音で楽しみたいという基本的なニーズを捉えなおし、バータイプの一体型フロントスピーカーを分離・小型化することで、すっきりとセッティングする「セパレートサウンドバーコンセプト」を新たに提案する商品です。

2本のコンパクトなフロントスピーカーは、リモコン受光部を隠すことなくテレビ画面下の置台とのスペースなどに設置可能で、ケーブルも目立たずに配線できるので、さまざまなテレビのデザインになじむすっきりとしたセッティングができます。サブウーファーは縦置き・横置きを選べる<sup>※2</sup>仕様にする事で、テレビ周りのスペースに応じて設置できるとともに、さまざまなテレビや置台のサイズ・デザイン、インテリアと調和するスリムデザインを採用しており、テレビ周りにすっきりとセッティングできます。また、長年のホームAV製品作りで培った技術と専用の音質チューニングにより、高域から低域までバランス良く再生することが可能となり、映画だけでなく、テレビ放送や音楽を明瞭で広がりのある音で楽しめます。さらに、4K映像信号(4K/60p)や3D映像の伝送に対応したHDMI端子を装備(3系統)するとともに、著作権保護技術“HDCP 2.2”に対応しており、4K映像機器と接続することで4Kの高画質映像を楽しめます。最新の映像規格“HDR”にも対応しており、“HDR”対応の4K映像機器と接続すればより高画質な映像を楽しめます。

【主な特長】

■「セパレートサウンドバーコンセプト」によるテレビの周りにすっきりセッティングできるシステム

- 2本のコンパクトなフロントスピーカーとハイパワーアンプ(L+R:20W+20W, SW:40W)を内蔵したサブウーファーによる2.1ch構成を採用しています。フロントスピーカーは、リモコン受光部を隠すことなくテレビ画面下のテレビ置台とのスペースなどに設置可能で、ケーブルも目立たずに配線できるので、さまざまなテレビのデザインになじむすっきりとしたセッティングができます。縦置き・横置きを選べるサブウーファーはテレビ周りのスペースに応じて設置できることに加え、さまざまなテレビや置台のサイズ・デザイン、インテリアと調和するスリムデザインを採用することで、テレビ周りにすっきりとセッティングできます。



【サブウーファーをラックに収納したシステム全体の設置例】



【サブウーファーを縦にした設置例】

オンキヨー & パイオニア マーケティングジャパン株式会社

### ■映画だけでなく、テレビ放送や音楽を楽しめる高音質機能の搭載と専用の音質チューニング

- マルチチャンネルコンテンツのソースに由来する低音のズレを補正できるパイオニア独自の「フェイズコントロール」機能を搭載していることに加え、単品コンポーネントの技術者による本格的な音質チューニングを施しており、人の声の明瞭な再生とともに、高域と低域の自然なつながりを実現します。映画はもちろん、ドラマやニュース番組などのテレビ放送、音楽など、さまざまなコンテンツにおいて、高域から低域までバランスの良い、明瞭で広がりのある音で楽しめます。
- バランスの良い自然な響きを楽しめる「ステレオ」モード(工場出荷時)、アナウンサーの声などをより明瞭にする「ニュース」モード、迫力ある低音と広がりのある音で映画やゲームに最適な「映画/ゲーム」モード、ライブ感のあるサウンドが楽しめる「ミュージック」モードなど、さまざまなコンテンツを楽しむためのリスニングモードを搭載しています。

### ■最新規格に対応した HDMI 入力端子と拡張性の高い 4K 映像対応

- 4K 映像(4K/60p)や 3D 映像の伝送に対応した 3 系統の HDMI 入力端子を装備していることに加え、4K 映像信号の伝送に必要な著作権保護技術“HDCP 2.2”に対応しており、4K 映像機器と接続して 4K の高画質映像を楽しめます。最新の映像規格で UltraHD ブルーレイに採用された“HDR”にも対応しており、“HDR”対応の 4K 映像機器と接続することでより高画質な映像を楽しめます。
- ARC<sup>※3</sup>(Audio Return Channel)に対応しており、対応のテレビと HDMI ケーブルで接続することで、本機でテレビ放送の音声を手軽に楽しめます。

### ■スマートフォンの音楽をワイヤレス再生できる Bluetooth<sup>®</sup>無線技術搭載

- スマートフォンなどの Bluetooth<sup>®</sup>対応機器と接続して、音楽やインターネットラジオをワイヤレス再生<sup>※4</sup>で楽しめます。また、“Qualcomm<sup>®</sup> aptX<sup>™</sup>”と“AAC”の高音質コーデックに対応<sup>※5</sup>しているため、ワイヤレス再生でも質の高い音質で音楽を楽しめます。

### ■その他の特長

- ロスレスサウンドの“ドルビー TrueHD”、“DTS-HD”や“MPEG2-AAC”など、多彩なフォーマットに対応。
- 直感的に操作できるようシンプルにデザインされた「かんたんリモコン」搭載。
- 各社テレビメーカーのリモコンから基本操作を行える「HDMI CEC 機能<sup>※6</sup>」対応。

- ※1 HDR とは、映像の最大輝度を拡張する技術。“ULTRA HD Blu-ray<sup>™</sup>”規格では HDR 技術を使用して、最大輝度を 100nit から 10,000nit に拡張。
- ※2 本機を設置する場合には、壁から 5 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 5 cm 以上、側面から 5 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ※3 ARC 対応のテレビとの接続時。ARC 非対応で光デジタル音声出力があるテレビの場合、別売の光ケーブルでの接続が必要です。HDMI 入力、光デジタル音声出力、アナログ音声出力のいずれにも対応していないテレビには接続できません。
- ※4 本機で Bluetooth<sup>®</sup>無線技術搭載機器の音楽を再生するには、Bluetooth<sup>®</sup>無線技術搭載機器がプロファイル:A2DP に対応している必要があります。すべての Bluetooth<sup>®</sup>無線技術搭載機器との接続動作を保証するものではありません。
- ※5 接続する端末側も Qualcomm aptX/AAC に対応している必要があります。
- ※6 当社が動作確認している他社製機器(2016年4月現在)：パナソニック製のビエラリンク対応テレビ、プレーヤー、レコーダー／東芝製のレグザリンク対応テレビ、プレーヤー、レコーダー／ソニー製のブラビアリンク対応テレビ／シャープ製の AQUOSファミリンク対応テレビ、プレーヤー、レコーダー。テレビとレコーダー(プレーヤー)のメーカーが異なる場合、連動動作は保証外です。各機器の設定などによって動作しない場合があります。「HDMI CEC機能」と互換性のある他社製品であっても、すべての連動動作を保証するものではありません。

- \* Bluetooth<sup>®</sup>ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- \* Qualcomm aptXはクアルコム・テクノロジー・インターナショナル株式会社の製品です。Qualcommは米国および他の国々で登録されたクアルコム社の登録商標で、許可を得て使用しています。aptXはクアルコム・テクノロジー・インターナショナル株式会社の登録商標で、米国および他の国々で登録され、許可を得て使用しています。
- \* HDMI<sup>®</sup>は、HDMI Licensing LLCの商標です。
- \* 本機は、「フェイズコントロール」技術を採用しています。本技術を適用した製品にはフェイズコントロールマークが付与されます。「フェイズコントロール」技術とは、ソフト制作時や再生時に発生する「低音のズレ」(時間の遅れ、および位相のズレ)を解消する技術です。
- \* 「Pioneer」および「Pioneer」ロゴ、「フェイズコントロール」および「フェイズコントロール」マークは、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- \* Dolby, ドルビー、およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーの登録商標です。AAC ロゴはドルビーラボラトリーの商標です。
- \* DTS, DTS-HD、記号、および DTS または DTS-HD と記号の組み合わせは DTS 社の登録商標です。©DTS 社不許複製。
- \* その他の会社名、商品名、技術名、トレードマークおよび商号は、各社の商標または登録商標です。

【主な仕様】

【本体部】	
実用最大出力	フロント(L/R): 20 W/ch(JEITA、1 kHz、THD 10%、4 Ω) サブウーファー(SW): 40 W/ch(JEITA、100 Hz、THD 10%、8 Ω)
■ 入出力端子	
HDMI 端子	入力 3 系統、出力 1 系統
音声入力	光デジタル(角形光ジャック) 1 系統、アナログ(RCA 端子) 1 系統
■ Bluetooth®部	
バージョン	Bluetooth® 標準規格 Ver. 3.0
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC(Subband Codec)、AAC、APT-X
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
■ サブウーファー部	
型式	バスレフ式
使用スピーカー	13 cm (コーン型) × 1
再生周波数帯域	40 Hz ~ 250 Hz
■ その他	
外形寸法	横置き時: 435 mm (幅) × 115 mm (高さ※) × 369 mm (奥行) 縦置き時: 115 mm (幅) × 436 mm (高さ※) × 369 mm (奥行) ※(高さ): 横置き時はゴム足を含まないサイズ、縦置き時はゴム足を含むサイズ。
本体質量	7.4 kg
消費電力	32 W
待機時消費電力	0.4 W (BT STBY 機能 OFF 時、HDMIコントロール機能 OFF 時) 0.5 W (BT STBY 機能 ON 時、HDMIコントロール機能 OFF 時) 4.5 W (BT STBY 機能 ON 時、HDMIコントロール機能 ON 時、HDMIスタンバイスルー ON 時)
【フロントスピーカー部】	
型式	密閉式
使用スピーカー	4 cm × 7 cm (コーン型) × 1
インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	150 Hz ~ 20 kHz
外形寸法(1本)	150 mm (幅) × 57 mm (高さ※) × 88 mm (奥行) (※突起部除く)
本体質量(1本)	0.3 kg

※ 詳しい製品情報は以下の製品のホームページをご覧ください。  
<http://pioneer-audiovisual.com/hometheater/frontsurround/http-cs1/>  
<http://pioneer-audiovisual.com/hometheater/>